

市長	副市長	教育長	教育次長	課長	館長	課長補佐	係長	記録

【所属名：教育委員会文化振興課（博物館）】  
【会議名：糸魚川市博物館協議会 全体会】

開示  
一部開示 (理由:条例第 条第 号 該当)  
不開示  
時限不開示 (開示: 年 月 日)

## 会 議 録

作成日 平成 24 年 6 月 14 日

日	平成 24 年 5 月 31 日	時間	13:30 ~ 15:30	場所	フォッサマグナミュージアム ホール
件名	議題(1) 報告事項 1 ~ 6 (公開) 議題(2) 協議事項 平成 24 年度博物館協議会の活動計画 (公開) 平成 24 年度事業計画、活動計画 (公開)				
出席者	【出席者】 8 人 専門部会 梶座副会長 大塚委員 運営部会 片山会長 伊藤委員 池原委員 岩崎委員 小野委員 中村委員  【欠席者】 2 人 専門部会 天野委員 松岡委員  【事務局】 博物館 高橋館長 宮島参事(館長補佐) 竹之内副参事(学芸係長) 山本係長(業務係長) 茨木主任学芸員 山崎主任主事				
	傍聴者定員		人	傍聴者数	1 人

### 会議要旨

- 1 開会 (13:30)  
【事務局】 高橋館長あいさつ
- 2 山本係長紹介
- 3 議題  
(1) 報告事項  
【事務局】 山本係長 報告事項 1 ~ 4 について説明。
  - ・報告事項 1 平成 23 年度博物館協議会の活動について
  - ・報告事項 2 入館状況について
  - ・報告事項 3 ミュージアムショップ運営状況について
  - ・報告事項 4 博物館諸活動(業務係担当分)について  
竹之内副参事 報告事項 5 について説明。
  - ・報告事項 5 博物館諸活動(学芸係担当分)について

山本係長 報告事項6について説明。

・報告事項6 博物館リニューアルについて

#### 質疑

【会 長】 館主催以外の講演等が非常に多い。年々多くなっているが、ジオパークガイドと協力しながら、ということではできないのか。

【事務局】 講演会については学芸員が対応するしかないが、野外の案内については、ジオパークガイドと調整していきたい。しかし大きな改善は見込めない。特に学校からの依頼について、実施の2~3日前に連絡が来ることがあり、(ジオパークガイドとの)調整が難しい。

【会 長】 ジオパークガイドから、仕事を斡旋してほしいという要望を聞いている。

【館 長】 専門的な内容の場合は学芸員が対応するが、館内説明などはガイドさんを養成して、肩代わりしていただけるようにしていきたい。

【委 員】 100万人達成おめでとうございます。自分の予想より早く、喜ばしい。調査研究の「東日本大震災における津波被害実態調査」について、意図を説明してもらいたい。

【事務局】 3月11日の津波被害について、機会があるごとに説明をしているが、実物を見ないとよりよい説明ができない。また、学校によって被害の大小にたいへんな差があった。この違いについても学んできたいという意図であった。

【委 員】 昨年度のリニューアルの内容について説明してほしい。

【館 長】 工事の設計を委託した。内容は、陸屋根・外壁の補修、躯体の補修、表面の塗装など。(その工事については、)現在入札中である。

【委 員】 改修の事前の補修ということか。

【館 長】 (昨年度は)設計を実施したものの。

【委 員】 先日の長崎での世界ジオパークの会議に参加されて、何か参考になることはないか。

【事務局】 参加したのは30カ国、600人近くで、過去最高(半分くらいは日本人)であった。島原宣言が採択された。内容は、ジオパークの役割に、自然災害に対する防災教育に力を入れるべきであること、が追加された。また、秋篠宮殿下と紀子妃殿下がご来場され、糸魚川のブースに来られた。

【委 員】 何件の発表をしてきたのか。

【事務局】 5件と、子どもフォーラムで壇上に上がった。

#### (2) 協議事項

【事務局】 山本係長 博物館協議会の活動計画、業務系の平成24年度事業計画、活動計画について説明。

竹之内副参事 学芸系の平成24年度事業計画、活動計画について説明。

#### 質疑

【会 長】 特別展として、かつて「ニュートリノ展」等を開催したが、今年の予定は。

【事務局】 現在予定はない。巡回展があれば積極的に受け入れたい。

M&M(鉱物と博物館に関する国際会議)を4年後に糸魚川に誘致できないか、千葉で開催された日本鉱物科学会で立候補した。

現在は特別展を開催する部屋が無いが、リニューアルすれば開催するスペースができる。

M&M8 に向けて、書籍の作成などを考えている。開催はおそらく 2016 年の秋。

【委員】 M&M の規模は。

【事務局】 参加者は 100 人くらい。前はコロラド州のデンバー、今年はドイツのドレスデン。日本で開催となればアジアでの開催は初。

【事務局】 7 月 7 日の佐藤努さん講演について、糸魚川小・糸魚川中・糸魚川高校・上越教育大に参加要請を。専門的なことより、理科好きな自分の成育歴について語ってもらっては。糸魚川吹奏楽団 OB にも参加要請を。

【事務局】 どのようにしたら親子連れのかたに講演会に参加していただけるか。

【委員】 講演会のちらしはあるか。

【事務局】 これから作成する。

【委員】 講演会について校長会で話す。

【事務局】 校長会までにチラシを間に合わせることとし、参加要請の協力をお願いしたい。

【委員】 昨年度に実施した事業についてはわかったが、そこから出てきた課題や問題点はあるか。

【事務局】 学校教育に限って言うと、学芸員を使ってもらうことはありがたい、気軽に使ってほしいが、1 週間くらい前に依頼が来ることがあり、困る。1 か月くらい前までに相談してもらいたい。

【委員】 1 か月くらい前に青海自然史で能生中の生徒約 90 人に説明したが、青海自然史に来たことがある生徒は 0 人、FMM はと聞いたら 2 人だけだった。

【事務局】 能生地域の学校の利用は少ない。

【館長】 先ほどの話と矛盾するようだが、地層の観察などは、学芸員が学校の先生を対象に講習をおこない、児童・生徒には先生から教えるようにしてもらいたいと、以前文書でお願いしたことがある。

【委員】 子どもの理科離れの問題以前に、先生が、理科を持ってないことが、「野外観察を学芸員に丸投げ」の原因。先生自身が研修しないといけない。

【事務局】 地層見学について、これまで理科センターがまとめ役になって、学芸員が講師役に研修をおこなってきたが、参加するのはほんのひと握りの先生、しかも理科に興味を持つ先生だけ。

【委員】 小学校は専科ではないので、(先生は)8 分野すべてやるようになっている。(教職員が)せっきく糸魚川にいるのだから、教職員に興味を持たせるような働きかけを出来ないか(多忙かもしれないが)。

【委員】 小学校教員でも、地学を高校・大学で習っていない。理科教員でも、地学が苦手な人は 6~7 割いる。先生が生地の層を説明できない。糸魚川にはせっきく地層があるのだから、よそからの人の説明を優先順位の下にもっていても、市内の小中学生に説明する機会をなくさないようにしてもらいたい。

【委員】 理科センターが 4 月からいっしょになっているとのことだが、立場を越えてやっていく気はあるか。

【事務局】 現在は多忙のため相互不可侵。今後、県が理科センターの予算をゼロにし、市が単

独で所管することになったとき、相互乗り入れになると思われる。今は多忙のため条件的に難しい。

【事務局】 今年、理科センターは2人とも新しく配属されたので、様子がよくわかっていない。(理科センターと博物館が)同じところに居ることのメリットは高い。知識のことなど。

【館長】 学芸員は地学のみなので、お互い助け合っていてほしい。

### (3) 報告事項6 博物館リニューアルについて

【事務局】 高橋館長 今までの経過と今後の予定(予算、実施年度等)について説明  
宮島参事 リニューアル図面等(たたき台)について説明。

#### 質疑

【会長】 雨漏り等の補修を今年計画しているのか。

【館長】 そうである。空調については今年度ではない。

【委員】 展示室1~5の中に、フォッサマグナのイメージを作してほしい。フォッサマグナの展示は3と4に分かれているが。

【事務局】 展示内容について、まだ詳しく詰めていない。これまで竹之内係長が作成したパネルがあるので、活用していく。

【委員】 展示室2~4は年代順か。ヒスイの展示面積が減っているようだが。

【事務局】 展示室2-aにヒスイがくる。第2・第3展示室は中央の小屋を撤去するので、見通しが良くなり、展示スペースが増える。1つの部屋で、2つの逆Uの字を描くように見学する。

【会長】 このことについては専門部会で話し合ってもらってはどうか。

【委員】 10億の基本計画事業費に対して、いくら出るのか。

【館長】 5.5億の査定になっているが、そのうち既存設備の改修に2~3億かかる。半分くらいしかリニューアルに使えない。

【委員】 2~3年後に追加で整備できるのか。

【館長】 昨年の実施計画の段階では、今とりあえず5.5億の査定になっている。第2次、第3次リニューアルと追加でリニューアルしていきたいと要求したが、財政当局はうんと言ってくれない。しかし、これ(1回のリニューアル)で終わりという考え方ではいけない。いつかまた改修・追加をしたい、今回はそれまでのつなぎ、と考えたいと思っている。

【委員】 予算が予定の半分しかないから半分をリニューアル、ではなく、ある程度の長期計画を含めたプランをつくっておいて、予算要求はしていく、としてはどうか。つぎはぎで使いづらくなってしまうのは良くない。青海自然史の鍾乳洞はどこかで使えないか。将来でもいいので。なぜ鍾乳洞を作ったか、それは鍾乳洞が実際にあるのに、見学できないので作った。外部から「見学できるようにならないか」との声が出てくるのではと考えた。

【館長】 リニューアル修正案(今日のたたき台)は、基本計画の案に優先順位を付けて(特にジオパーク情報センターは重要)、市長の指示である「ジオパークの学習ができるような館に」に応えられるようにした。そのようになるよう、バックアップをお願いし

たい。

【会 長】 研修室・企画展示室には何人くらい入るのか。

【事務局】 40人くらい入る。

【会 長】 ホールでもできるのではないかな。

【事務局】 階段教室ではできないこともある。学会開催のためには複数あることも重要。

【会 長】 (研修室・企画展示室は)もう少し大きくなれないかな。

【事務局】 検討する。

【委 員】 研修室ができるのはいいが、研修室と企画展示室が兼用だと、使用がバッティングして多目的に使えない可能性がある。

実験・実習をする部屋がないのではないかな。ホールの下部の固定式の椅子を可動にすると、そのスペースを有効に使うことができる。

展示室の動線は、100～150人の学校の利用の場合、展示室1が狭いのでネックになりそうだが、直接第2へ入れる通路を開いてはどうか。

【事務局】 ホールの上(南)に体験学習室がある。(第1展示室は)多人数が入る場合は渋滞するが、対策として、半分に分けて一方はホールでレクチャーを受けてもらい、時間差を作っている。第1展示室は、さっと見学してすぐ通過したり、逆(第5展示室)から見学したりする子どももいる。現状ではそれほど混雑しない。ショートカットについては検討課題。

【委 員】 ホールの1年間の利用度はどれくらいかな。

【事務局】 常設展示室以外では特に利用頻度は高い。団体客向けのレクチャーに利用している。学校での利用の時や、地方公共団体がジオパークの視察で来た時にも説明に使用している。

【委 員】 リニューアル予算の5億円の内訳はどのようになっているのかな。

【館 長】 (約10億から5.5億に減額された)査定には内訳は無い。基本計画の時は10億、内容に優先順位を付けて積み上げていったら6.4億となった。これを5.5億に切られた。

今年の、屋根と外壁の補修で8千万円。先送りにした空調機については額が大きく、既存の照明も含めると2～3億になりそう。

【委 員】 冬の来館者に対して、普及活動ができないのでは。冬に特化した来館者を呼ぶ工夫が必要ではないかな。

【事務局】 スノートレッキングをやっている。冬場は、滞っている資料整理を進める必要がある。

【委 員】 冬場は無休でなくてもいいのではないかな。

【館 長】 12月～2月末まで、従来通り月曜は休館となる。

【委 員】 標本庫の増築が削られているが、手狭になっていないかな。

【事務局】 標本庫に入ってみれば一目瞭然である(手狭である)。そのため、現在「奴奈川姫シアター」を「倉庫」に改修し、現在、収蔵庫(標本庫)にあるものを入れるつもりである。現在の収蔵庫には理科センターのものも入っていて手狭である。

【委 員】 青海自然史博物館の役割分担はどのようになっているのかな。

【事務局】 2館を1館に集中し、フォッサマグナミュージアム1館でやっていくことになっている。青海自然史の建物は博物館ではなくなり、他の用途に使うことになるが、どの

ように活用するか、未定である。鍾乳洞模型は活用していきたい。

【委員】 青海の標本について、日本と世界の石灰岩などは、小さくしてもいいので、活用してほしい。現状より小さなスペースであっても、展示してほしい。

【事務局】 有効に使えるようにしていきたい。

【委員】 青海地域の目玉は石灰岩である。それを縮小したものを FMM へ持ってきて展示してもらいたい。

【事務局】 増築の繰り返しで迷路のようになるかもしれないとの指摘について、これ以上増築しては、来館者のニーズに合わなくなる。(展示物を増やしても)見学者が見きれなくなってしまう。

【会長】 本来ならレストランを併設して、ある程度の時間滞在してもらえるようにしてほしい。

【事務局】 学校での利用の場合、弁当を持参している。

【会長】 他に意見はないか。これがリニューアルについて検討する最後の機会ではない。

【館長】 本来なら事前にリニューアルのプラン(たたき台)を配布すればよかったが。今後、機会を作りたい。何回もやりとりをしていきたい。

【会長】 この後のことは、各部会で話し合うことにしたい。

## 5 その他

### (1) 各部会の日程について

【事務局】 山本係長 各部会の開催日程について、調整する

## 6 閉会(15:30)